

座禪洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・座禪洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00、
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/

166号 2018.1.1.
 毎月1回発行 座禪洞診療所 松井英介

子どものいのちと尊厳を守る年に

松井 英介



中日新聞は2018年1月1日朝刊一面トップで、核物質で汚染された土の除染不正を大きく報道しました。見出しは「福島除染『手抜き』汚染土詰めた二重袋の内袋を閉めず 1000袋発見」。

作業員の証言によれば、防水機能のあるフレコン（除染袋）の内袋を閉めない手抜きは他業者のやっており、未発見の手抜きフレコンは今も大量に放置されている可能性があるというのです。除染は移染にすぎないことは以前にも指摘しましたが、とんでもない税金の無駄使いが、改めてライトアップされました。伊奈波神社元旦参拝の様子は小さなベタ記事になっていました。

2018年元日の朝刊一面トップに、あえて核汚染問題をもってきた中日新聞（東京新聞も）の英断を、東電福島第一原発事故を過去の歴史事実として棚上げしようとする権力に対する、勇気ある異議申し立てとして、とても心強く感じた次第です。

2011年3月11日人類史上最大の核惨事から、間もなく7年。いのちに関わる重要な課題を、日本政府は棚上げしてきました。

「福島には火がついています！」。事故直後に声を上げたお母さんを思い出します。

3.11核惨事の最大の責任は、いうまでもなく、国策として原発を推進してきた日本政府にあります。政府はまずすべてに優先して、核汚染に晒される子どもたちを守るべきです。

中でも「移住の権利」の保障は、最重要課題です。

この課題を見えなくするために、「アンダー・コントロール」などと両腕をひろげ、マスメディアを総動員したオリンピック・パラリンピック煙幕が張り巡らされています。



LB4200 型
 多チャンネル低バックグラウンド
 α / β 計測システム

今年こそ、権力の黒い企みを見抜く眼を養いましょう。

核による汚染の調査も、きわめて不十分です。子どもたち一人ひとりがどれだけの核物質を体内に取り込んだかを調べましょう。

私たちは自分たちで、乳歯のストロンチウム90を調べ、子どもたちの内部被曝を正確に把握しよう決めました。そして、政府に提言する準備を始めました。

全国各地さらにスイスやドイツをはじめ世界各地の、心ある人びとの力で、非営利未来型株式会社「はは」の測定所が、間もなく誕生します。

旧年にも増して、智恵と力をお貸しくださいますようお願いする次第です。